

中学生の英語力の向上を後押し

「外国人英語教育サポーター」を募集

教育委員会は、児童・生徒の英語にふれあう機会が増え、英語のコミュニケーション力が向上するよう、英語教育の充実に向けて取り組んでいます。このたび、市立中学校で、英語



語科教員の指示にもつき英語の授業などを補助していただく「外国人英語教育サポーター」の登録者を募集することになりました。活動内容など詳しくは総合教育センター(0798・67・6856)へ問合せを。

【申込】写真を添付した所定の申込書を総合教育センター(神祇官町2-16)へ持参を。申込書は同センターで配布しているほか、市のホームページ(アドレスはページ下参照)の「アウトライン西宮」の中の「人事情報」からもダウンロードできます。 ※登録人数により、活動に従事できない場合もありますのでご了承ください。

【対象】英語を母語とする市内在住の外国人で、英語を母国語とする国で認可された大学の学士号取得者

【報酬】1時間3000円

心がよつまちに向けて

ふれあいを通じ、地域の国際化へ

西宮市には現在約6700人の外国人市民の皆さんが生活しています。西宮市国際交流協会は、外国人市民との「交流の場」であり、生活支援のための「相談」、「情報提供」などを行っています。

また、地域では、外国人市民の皆さんが生活で直面する問題(日本語や生活習慣、伝統・文化、子どもの学校諸手続き、医療、法律など)に対して、心がよつまち適切な対応を行うことが必要です。その実現に向けて、市民ボランティア(自主活動グループ等)の皆さんが多彩な活動を行い、大きな力を発揮しています。

交流の場づくり

- ◆NIA地球つ子クラブ 小学3年生から6年生までを対象に、外国人ゲストとの交流などを通じ、国際理解を深めます
- ◆KIDS CLUB 外国籍の子どもをもつ親とその子どもたちの交流の場です
- ◆ホームステイ 留学生や研修生を日本の家庭に招き、1泊2日の交流を行います
- ◆食文化交流 日本の季節の

情報提供

- ◆ふれあい通信 同協会が行う事業やボランティア活動、イベント情報など情報満載の機関誌。日本語、英語、中国語、韓国語、朝鮮語の4カ国語で年4回発行
- ◆さくらFM(78・FMメガヘルツ)の番組 「元気国際交流」：第3・4土曜の午前11時

支援・相談

- ◆外国人のための「日本語学習」 ボランティアの人が、日常生活に必要な日本語をマンツーマンで教えます
- ◆英語通訳・翻訳ボランティア 英語を話す人のため、生活

講座・イベント

- ◆エンジョイ・トーキング 外国人ゲストを迎え、英語・中国語・フランス語で話を楽しみながら、相互理解を深めます
- ◆国際理解講座 毎年テーマを決めて、国際理解を深める講座をシリーズで開催

【賛助会費】個人3000円、団体2万円(年会費は個人3000円、団体2万円) 国際交流活動の推進に貢献する方を募集します。活動の活性化を支援する目的で、個人3000円、団体2万円を年会費として募集します。市引き上げます。

西宮国際交流デー

2月17日にフレンテ西宮で

2月17日にフレンテ西宮4・5階で「西宮国際交流デー」を開催します。外国人の皆さんと交流できる楽しい催しがいっぱいあります。入場無料。

◆パザール&展示 午前10時～午後4時。姉妹友好都市市民の会などによるパザールなど

◆日本語体験コーナー 午前11時～午後2時。お茶席や折り紙、琴などを体験できます

◆英語落語&パフォーマンス 午後1時～3時半。落語家・林家染太さんによる英語落語や、外国人によるダンスなど



異国情緒たっぷりのパフォーマンス

◆さあ、意外に!?できるかな、わかるかな?外国人のための防災教室 午前11時～正午。クイズや体験などを通して災害や防災について学びます



林家染太さん

多文化共生社会を考える

多文化な子どもたちの現状と未来④

とよなか国際交流協会事業課長 榎井 縁

来日した外国人の子どもたちの一番つらい時期は、日本語をべらべらにしゃべれるようになってから訪れる。同じことが前提となつて、違いが重視されなくなる。めずらしくも、おもしろくもなくなり、逆にちょっとした違和感を疎ましがられる。

半から。阪神間在住の外国人の皆さんにインタビュー形式で話を聞きます▽「世界のみんなとつながろう!」：土曜午後10時から(第1・3土曜は中国語で放送)。外国語で地域情報や防災情報をお届けします

にかかわる通訳・翻訳、情報提供などを行います

外国人のための生活相談 在留資格、仕事、医療などの日常生活上で困っていることなどの相談に応じます

外国人ゲストを迎え、英語・中国語・フランス語で話を楽しみながら、相互理解を深めます

毎年テーマを決めて、国際理解を深める講座をシリーズで開催

国際交流活動の推進に貢献する方を募集します。活動の活性化を支援する目的で、個人3000円、団体2万円を年会費として募集します。市引き上げます。

3月2日の午前10時～午後5時(最終日は3時)に甲東ホール展示室で

★関連イベント「移民カルタで遊ぼう」 3月1日の正午～午後5時、2日の正午～午後3時に同展示室で。カルタを通して移民の歴史を学びます。参加費無料

ロンドンリーナ・ウィーク

外国人のための在留資格無料相談会

3月2日の午後1時から4時まで西宮市国際交流協会で「外国人のための在留資格無料相談会」を開催します。行政書士が入国管理手続きや在留資格の相談に応じます。対象は市内在住の外国人。英語・中国語以外の相談は事前申込を

市、西宮市国際交流協会などは、本市とロンドンリーナ市(テラシル)との友好都市提携30周年と、日本人がブラジルへの移住を開始して100年目になることを記念し、「ロンドンリーナ・ウィーク」を開催します。行政書士が入国管理手続きや在留資格の相談に応じます。対象は市内在住の外国人。英語・中国語以外の相談は事前申込を

市、西宮市国際交流協会などは、本市とロンドンリーナ市(テラシル)との友好都市提携30周年と、日本人がブラジルへの移住を開始して100年目になることを記念し、「ロンドンリーナ・ウィーク」を開催します。行政書士が入国管理手続きや在留資格の相談に応じます。対象は市内在住の外国人。英語・中国語以外の相談は事前申込を

人の友だちに励まされ、悩むのも彼らの側だ。そこには、他の国や民族を支配することが正当化されていた負の歴史がある。「多民族」という考えは、他の民族を区別し、序列化を行うなかで生まれてきた。このことが外国人を、時代が経ても別の基準で扱ってかまわない慣習をつくってきたと言える。ホスト受け入れ側)社会に馴染(なじ)めば馴染むほど、忘却されるのはこのつくられたしくみとして「違い」である。

れを二度と繰り返さないためにも、私たちは変革すべき違い」と、「尊重すべき違い」を見極めなくてはならないだろう。すなわち前者は、ともに暮らす人びとの社会への平等な参加の機会であり、後者は歴史的背景や文化も含めたその人びとの生き様である。こうした違いの見直しこそが、多文化共生の根に求められているのではないだろうか。

問合せは秘書・国際課(0798・35・3472)へ。

就学奨励金の申請を受付中

申込は3月7日まで

教育委員会は、市立小・中学校および県立芦屋国際中等教育学校の就学奨励金(平成20年度分)の申請を受け付けています。対象は経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者です。申込は3月7日までに、申請書を現在籍校(県立芦屋国際中等教育学校入学予定者は入学する学校)に提出してください。詳しい内容については、全児童・生徒に配布している「就学奨励金についてのお知らせ」をご覧ください。

なお、4月以降に申請する場合、原則、申請月からの支給開始になりますのでご注意ください。問合せは学事グループ(0798・35・3851)へ。

ペットの飼い主の皆さんへ

マナーを守り、責任をもって飼いましょう

動物管理センターは、動物愛護や飼い主の適正な飼育の普及啓発を推進しています。《犬・ねこを譲ります》 同センターは、収容または引き取りした動物を譲渡していま

す。対象はペットを飼える家に居住していて、最期まで責任をもって飼育できる人。申込方法など問合せは動物管理センター(0798・81・1220)へ。 《犬を飼っている皆さんへ》 飼い犬の登録内容に次のような変更がある場合は必ず同センターに届け出をしてください。 【届け出事由】 飼い犬の死亡▽市内での転居▽市外への転出▽市外からの転入▽飼い主の変更(譲渡、飼い主の姓の変更等) ※3月末に来年度の狂犬病予防注射案内通達書を郵送する予定です